

「思考を可視化 方法学ぶ」 2018年7月16日付愛媛新聞
(掲載許可番号：d201807170005)

思考を可視化 方法学ぶ

会議などで記憶や情報を可視化して共有する記録法「グラフィックレコーディング(グラレコ)」の体験講座が15日、松山市文京町の愛媛大であり、県内の小学5年〜中学3年生42人が、思考を絵や文字などで表現する手法を学んだ。

愛媛大でグラレコ講座



小中学生が記憶や情報を可視化する技術を学んだ
体験講座

小中学生 絵や文字で表現・伝達

科学技術振興機構(埼玉県)と全国の大学などによるジュニアドクター育成事業の一環。

ディー・エヌ・エー(Den A)の社員でグラレコの普及に努める和波里翠さん(29)が講師を担当。「思考を整理して分かりやすく伝えることができる」などとメリットを説明し、行政のワークショップなどでも活用されていると紹介した。

参加者は「理想の未来の学校」をテーマに仲間のアイデアを絵で描くなどし、グラレコに必要な表現力を磨いた。愛媛大教育学部附属中2年の吉田陽南大さん(14)は「絵を使うと対話だけよりも表現の幅が広がり、コミュニケーションツールとして面白い」と話した。

(桑原大輔)

読もう!

